

授業概要

本講義では、市場経済への移行途上にある中央アジア・文明の十字路の5か国の金融・財政・経済問題を、その歴史的・社会的要因に基づいて展開する。今後、日本の経済は、中央アジアを資源の供給地や市場として相互依存関係を強めていくと考えられる。

中央アジアに興味を抱かせてくれる言葉がある。それが「シルクロード」である。この授業では、シルクロードに誕生した中央アジアの国々の民主化と市場化への取り組み、日本の役割について述べるとともに、中国の台頭、域内相互依存の深化、国内格差の拡大、社会問題についても議論する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス・途上国経済を見る目
第 2 回	文明の十字路・中央アジアの歴史的側面と日本について講義する
第 3 回	中央アジア諸国の社会的側面日本について講義する
第 4 回	中央アジア諸国の市場経済移行における諸問題と日本について講義する
第 5 回	中央アジア諸国の経済開発とガバナンスについて講義する
第 6 回	中央アジア諸国の金融状況と日本について講義する
第 7 回	中央アジア諸国の通貨と為替問題について講義する
第 8 回	中央アジア諸国の経済改革と日本について講義する
第 9 回	新しい「帝国」時代の中央アジア国際関係について講義する
第 10 回	現代中央アジア—イスラーム、ナショナリズム、石油資源について講義する
第 11 回	中央アジア諸国の経済・社会の変容と日本について講義する
第 12 回	中央アジア諸国と中国の「一帯一路」戦略について講義する
第 13 回	中央アジアのヘソ・新疆とシルクロード経済帯について講義する
第 14 回	ロシアの中央アジア戦略について講義する
第 15 回	中央アジア諸国のイスラーム金融について講義する
第 16 回	筆記試験

到達目標

本講義の目標は、中央アジアの強さ、そして弱さを理解し、正直パートナーとなれるよう、その基礎知識習得をしてもらいたいというものである。

履修上の注意

この授業は、講義形式を中心とするが、受講者の主体的な参加を重視する。この授業で出る中央アジア地域の経済実態や課題について、質問や議論に積極的に取り組んでほしい。そして授業を欠席せずにノートをよくとってもらいたい。授業開始後 30 分以上の遅刻は、欠席扱いとする。

予習・復習

授業のレジュメを把握し、参考書の該当箇所と新聞・WEB サイトの中央アジア経済に関する記事をよく読むこと。配布した参考資料を読み、授業時に示す課題について回答レポートを作成すること。

評価方法

成績は、レポート(30%)と期末試験(70%)により評価を行う。

テキスト

特定の教科書は使用しない。